

Feel the arts

伝国の杜だより

～伝国の杜は今年で開館20周年を迎えます～

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール

Spring 2021
Vol.39

開館20周年記念特別展

上杉鷹山の 生涯

～藩政改革と家臣団～



上杉鷹山像并上杉鷹山書状(肖像部分)(当館蔵)【前期】



竹俣当綱像(当館蔵)【前期】



小嶋熊蔵像(当館蔵)【前期】



吉田綱富像(市立米沢図書館蔵)【後期】

明和4年(1767)に17歳で第9代米沢藩主となり、改革に取り組んだ上杉鷹山の生涯を、家臣団との関係を中心に紹介します。

高鍋藩秋月家から養子入りした若き鷹山は、米沢藩を再建すべく、竹俣当綱はじめ改革派家臣の叱咤激励を受けて改革に取り組みました。山積する課題に対し、奉行(家老)層の主導のもと、実務を担った中・下級藩士や、学者・医師らも大きな役割を果たしました。重臣の反発や家臣団内部の対立、竹俣の失脚と鷹山の隠居による中断といった危機を乗り越え、改革は50年以上続けられました。鷹山の治績は30代から全国的に注目され、やがてその言行は藩内の規範として家臣達にも共有されていきます。

今年は鷹山の生誕270年と200回忌にあたります。本展覧会では、米沢藩上杉家の存続をかけて改革に苦闘した、鷹山の人間像と家臣団の働きぶりに注目します。

会 期

4月17日(土)～6月20日(日)

前 期：4月17日(土)～5月16日(日)

後 期：5月22日(土)～6月20日(日)

展示替え：5月17日(月)～21日(金)

休 館 日：5月26日(水)

講演会

「大名家臣の「奉公」とは何か」

高野信治氏(九州大学教授)

参加
無料

6月6日(日)14:00～、伝国の杜2階大会議室にて
要事前申込、4月21日(水)受付開始、定員先着80名(予定)。

博物館無料入館日

- ・5/5(水・祝) 子どもの日 高校生以下(特別展含む)
- ・5/18(火) 国際博物館の日 どなたでも(常設展のみ)

※感染拡大により記載内容に変更が生じる場合がございます。
最新情報はお問い合わせ下さい。



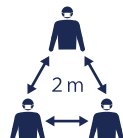
手指の消毒



マスク着用



検温



密を避ける

※新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。



国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 原本展示

4月17日(土)～5月16日(日)：上杉文華館にて

9月11日(土)～10月10日(日)：企画展示室にて

開館20周年 特別展 上杉鷹山の生涯 ～藩政改革と家臣団～

料 金 一般700(560)円 高大生300(240)円
小中生無料 ※()は20名以上の団体料金
※常設展示室と一体型。この料金を全館ご覧いただけます。

※以下は、**事前申込制**(4/1(木) 9時受付開始)となります。

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

- ①4月17日(土)17:15～「展覧会の見どころ」
 - ②5月22日(土) 9:15～「上杉鷹山と家臣団」
- 企画展示室にて、要特別展入館料
定員は①20名、②10名先着

◆ナイトツアー「古文書から読み解く、鷹山の本音!?!」

4月30日(金) 19:00～、企画展示室・体験学習室にて
要参加費500円。

主な展示資料 *展示期間は変更の可能性あり。

【通期】本草学者・佐藤中陵関係資料(水戸市立図書館蔵)ほか

【前期】紫系威二枚胴具足(上杉鷹山所用)(上杉神社蔵)
米沢興譲館之図(致道博物館蔵)ほか

【後期】上杉鷹山判物案(重要文化財中條家文書・山形大学小白川図書蔵)
上杉鷹山書状(なせばなる)(国宝「上杉家文書」・当館蔵)ほか



太刀 銘 国宗
(重要文化財渡辺家保存会蔵)【後期】

◆上杉家より拝領



脇差 銘 兼辰
(重要文化財渡辺家保存会蔵)【後期】



佐藤中陵「山海庶品」
(水戸市立図書館蔵)【通期】



フロシヤ掛船図
(致道博物館蔵)【後期】

開館20周年企画展 原作出版75周年 きかんしゃトーマス展 ソドー島のなかまたちが教えてくれたこと

会 期 6月26日(土)～8月1日(日) 休館日 7月28日(水)
料 金 一般500(400)円、高大生300(240)円、小中生200(160)円
協 力 マテル・インターナショナル株式会社 / ポプラ社
株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ
大東文化大学 英米文学科教授 河野芳秀
企画制作 東映株式会社

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

6月26日(土) 17:15～ 企画展示室にて、要企画展入館料。
※ギャラリートークは**事前申込制**となります。

1945年、イギリスの牧師ウィルバート・オードリー(1911～97)が
「汽車のえほん」として出版した擬人化された機関車のお話は、<き
かんしゃトーマス>として、絵本や人形劇、アニメを通して世界中で親
しまれています。本展では、日



レジナルド・ダルビー「トーマスとさかなつり」1949年

本展では、日本初公開作品を含む絵本原
画を、人形劇、アニメとも重ね
合わせて構成します。作品の
魅力を味わいながら、原作者
がこどもたちに伝えたかった
メッセージに立ち返ります。



© 2021 Gullane (Thomas) Limited.
© 2021 HIT Entertainment Limited.

開館20周年 特別展 狩野派 ～永徳の周辺～

会 期 8月7日(土)～10月10日(日) 休館日 8月25日(水)、9月22日(水)
〔前期:8月7日(土)～9月5日(日) 後期:9月11日(土)～10月10日(日)〕
料 金 一般800(640)円、高大生500(400)円、小中生300(240)円
※常設展示室と一体型。この料金を全館ご覧いただけます。

本展は、米沢市上杉博物館開館20周年を記念して、当館の代表的
収蔵品である国宝「上杉本洛中洛外図屏風」を戦国時代から近世初
期にかけての狩野派の代表的作品とともに展示し、狩野派の展開、そ
して時代の動向や価値観を紹介する展示です。

前期は「あこがれの世界へ」と題して、花鳥図や人物図などを中心
に展示し、大作も含めた永徳の画業の全体像、父祖正信・元信らから
の狩野派の展開などを示していきます。後期は「人々への視線」をテー
マとして、月次絵・四季絵・名所絵などを基礎に発展し、風俗画へと展
開していく中で描かれる人々の姿、時世粧などに着目して展示を構成
し、あらためて「上杉本洛中洛外図屏風」を見つめます。

主な展示予定資料

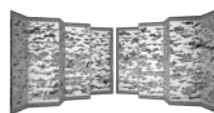
【前期】

狩野永徳筆・檜図屏風(国宝・東京国立博物館蔵)
狩野永徳筆・仙人高士図屏風(重要文化財・京都国立博物館蔵)
狩野元信筆・四季花鳥図屏風(泰巖歴史美術館蔵)
狩野山楽筆・柳小禽図(東京国立博物館蔵)ほか

【後期】

狩野永徳筆・上杉本洛中洛外図屏風(国宝・当館蔵)
狩野秀頼筆・観楓図屏風(国宝・東京国立博物館蔵)
歴博甲本洛中洛外図屏風(重要文化財・国立歴史民俗博物館蔵)
狩野松栄筆・釈迦堂春景図屏風(京都国立博物館蔵)ほか

関連事業 ギャラリートーク、講演会を開催予定



「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示
9月11日(土)～10月10日(日)

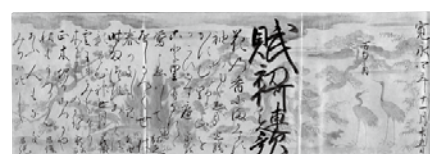
常設展示室 上杉文華館 年間テーマ:上杉定勝

国宝「上杉家文書」のうち、2代藩主・上杉定勝に関わる史料を中心に展示。
国宝「上杉家文書」は約1か月ごとに展示替えします。

期間テーマ・CTテーマ

- ①3月30日(火)～5月25日(火)「親と子①～景勝の教育～」
- ②5月27日(木)～7月27日(火)「親と子②～定勝の成長と別れ～」
- ③7月29日(木)～9月21日(火)「定勝の周辺」
- ④9月23日(木・祝)～11月23日(火・祝)「定勝の文芸①～漢詩文と歌～」

- CT 4/ 4(日)
- CT 5/30(日)
- CT 8/ 1(日)
- CT 9/26(日)



上杉定勝一座連歌百韻一綴

CT(コレクショントーク)について
・各回10:00～、15:00～の2回行います。
・要常設展入館料。

※内容は変更になる場合があります。

教育普及事業

プレイショップ

3/26(金) - 4/27(火)

春の光の色を楽しもう！トランスパレントペーパースター

4/29(木・祝) - 5/25(火)

紙粘土で夏の和菓子

5/28(金) - 6/22(火)

天体オブジェをつくろう

6/25(金) - 7/27(火)

ペーパークラフトで電車をつくろう

7/30(金) - 8/24(火)

折ってぼたぼた紙のおりぞめ

8/27(金) - 9/23(木・祝)

ぐるぐるマッピング

造形を通して自分の手から生まれ出る
かたちや、心と頭を連動させる発想の
たのしさを再発見！

※申込不要ですが、新型コロナ感染拡大防止対策として定員
を15名としております。団体利用は事前にご連絡下さい。
※手指消毒、マスク着用にご協力ください。
※詳細なスケジュールはHPでご確認ください。
※ワークショップなどのある日はお休みです。

米沢市上杉博物館開館20周年記念

118stories ～展覧会チラシでたどる175,200時間～

前期：3月30日(火)～9月21日(火)

後期：9月23日(木・祝)～2022年3月27日(日)

場所：情報ライブラリーポスター掲示スペース

当館が2001年から開催した展覧会のチラシを展示し、
20年を振り返ります。

募集制ワークショップ

参加費：各500円、要申込

★「ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ」シリーズ

どなたでも20名(中学生以下は保護者同伴)

4/1(木)より受付

◆4月23日(金) 19:00～20:30

上杉本洛中洛外図の世界へ

◆4月30日(金) 19:00～20:30

古文書から読み解く、鷹山の本音!?

★「モーニングツアー ようこそ朝の博物館へ」

未就学児～小学生低学年親子10組程度 6/9(水)より受付

◆7月10日(土) 9:00～10:00

きかんしゃトーマスの世界

◆7月18日(日) 10:00～11:30

色とあそぼう！

未就学児10名 6/9(水)より受付

◆8月28日(土) 10:00～11:30

夏のカラーハンティング

～自然の色に近づこう！～

小学生以上15名 7/28(水)より受付

◆8月1日(日) 10:00～15:00

樹脂絵具で作るステンドグラス

～幾何学模様のデザイン～

高校生以上10名 6/30(水)より受付

◆9月5日(日) 13:30～15:00

つつんで・むすんで

風呂敷の魅力と使い方

中学生以上10名 8/4(水)より受付



おちシャローック

チルドレンキュレーターズ17

こども学芸員の育成

17年目の今年度は、5人のこども
たちと館内での活動を中心に学芸員
の修行を継続していきます。



※今年度の新規募集はありません。

出前授業、学校連携の事例などはホームページに掲載。お気軽にご相談ください。
お問合せ 0238-26-8001(教育普及担当)

モールの作品展示予定

Uesugi Museum Art Collection

総合案内前では、当館アートコレクションから郷土作家を
メインに作品を定期的に入れ替えながら展示しています。
ご来館の際はぜひ足を止めてご覧ください。

■3月30日(火)～5月25日(火)

浜田英雄「作品名未詳(空にかかる橋)」1970年、キャンバス・油彩

浜田英雄「作品名未詳(抽象)」1964年か、キャンバス・油彩

※諸橋近代美術館「ショック・オブ・ダリ」(4月24日～6月27日)に、

当館所蔵の浜田英雄作品が出品されます。

*展示作品は都合により変更になる場合があります。

■5月27日(木)～7月27日(火)

窪島政男「風景」昭和前期、キャンバス・油彩



■7月29日(木)～9月21日(火)

福王寺法林「置賜文化ホール能舞台鏡板下絵(老松と若竹)」

2001年 紙本着色

収蔵品 学芸ノートから

しだげんしろうあてながおためかげしよじょう

志駄源四郎宛 長尾為景書状 (2019年新収蔵品)

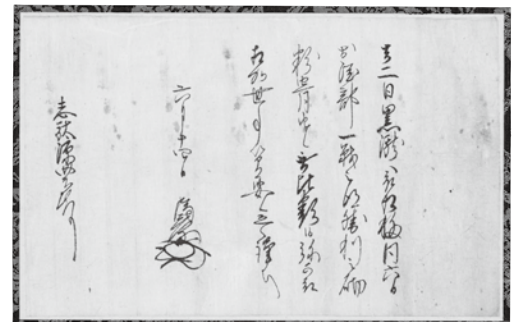
(永正7年・1510)6月14日

13.9×21.9cm

長尾為景は米沢藩上杉家の家祖として知られる上杉謙信の実父です。長尾氏は、越後
守護を担っていた上杉氏のもと、守護代として越後国の実地支配を務める家(府中長尾
氏)でした。

為景は永正4年(1507)に越後守護上杉房能を自害に追い込むと、上杉定実を越後守
護として擁立しました。永正6年には当時関東管領にあった上杉顕定(房能の実兄)から攻
められますが、翌年には上条定憲の加勢により挽回し、越後国を統べる存在となりました。
このように、為景は下剋上を体現する存在として、越後支配の実権獲得に大きな影響を与
えました。

この史料は、上杉顕定勢力を挽回する為景の軍事動向を詳しく物語るものとして注目されます。志田源四郎が黒瀧(新潟県弥彦村)を経て、渡
部(新潟県燕市)と移動して一戦に勝利したことがうかがえます。為景はこの書状が発給された6日後の永正7年6月20日に越後府中を奪還し、一
方で退路を断たれた顕定は長森原(新潟県南魚沼市六日町)で討死します。また、この史料は敵に発見されないために小切紙という極小の料紙
が使われており、文書の形態からも戦場での臨場感を感じることができます。



7/24(土) 14:00開演

絵本の読み聞かせ 『絵本のじかんだよ!』

企画制作：あうるすぽっと

撮影：二石友希

こばやしけんさく
出演 小林顕作

「宇宙⑨コード」作・演出・出演のほかダンスカンパニー「コンドルズ」で作品中のコント脚本も担当する小林顕作さん。大河ドラマ「真田丸」などのテレビやラジオ、CMナレーションなどでも活躍。一方で近年は演出家として舞台『帝一の国』、舞台『パタリロ!』などに携わっています。幼児向けテレビ番組「みいつけた!」(NHK Eテレ)のオフロスキー役でも知られています。

自身でセレクトした絵本を、生の息使いで読み聞かせてくれる『絵本のじかんだよ!』を各地で開催。そこに「客席ではお静かに」のルールはありません。時に思わずこぼれる聞き手の素直な反応も優しく拾い上げ、緩やかにのんびりと過ごす時間は「観劇って楽しい」を体感できる」と話題です。

観劇デビューのお子様や、絵本が好きな大人たちにお勧めの公演です。

ticket

【全席指定】おとな(18歳以上)2,000円 中高生1,000円
子ども(3歳以上小学生以下)500円

※上記金額は前売料金です。

※0～2歳の方は保護者の膝上で鑑賞する場合に限り無料で入場できます。

※公演当日に年齢確認を行う場合がございます。

発売日

一般発売 5/20(木)9:00 伝国の杜FC会員先行予約 5/12(水)～16(日)

8/22(日) 15:00開演

山響とみんなで創る音楽会 in おきたま

主催：山形県/(公財)山形県生涯学習文化財団/(公財)米沢上杉文化振興財団



米沢吹奏楽愛好会



山形交響楽団

1972年1月に東北で最初に産声を上げ、音楽界を牽引し続ける山形交響楽団と、71年4月に県内初の市民吹奏楽団として発足した米沢吹奏楽愛好会が、レスピーギの交響詩「ローマの松」より、美しく遙かなる風景を戦いに勝利した軍兵が力強く都へと凱旋する終曲「アッピア街道の松」を演奏。未来に向かい切れ間のないリズムに乗せて演奏します。

山形交響楽団は、ヨハン・シュトラウスⅡ世の喜歌劇「こうもり」序曲や、グリークの「パール・ギュント」第1組曲より、などをお届けします。良いお席はお早目にお申し込みください。



工藤俊幸(指揮)

ticket

【全席指定】一般1,200円 高校生以下600円

※上記金額は前売料金です。

※小学生以上を対象とする公演につき、未就学児は入場できません。

※託児の実施は未定です。詳しくは電話でお問合せください。

発売日

一般発売 6/10(木)9:00 伝国の杜FC会員先行予約 6/2(水)～6(日)

9/19(日) 16:00開演

真野響子一人舞台 夏目漱石 夢十夜

演出：竹内晶子 企画制作：石井光三オフィス

まや きょうこ
出演 真野響子

“こんな夢を見た”の冒頭文があまりにも有名な文豪・夏目漱石の短編小説『夢十夜』。現在(作中)は明治・神代・鎌倉時代・100年後の未来と、10の不思議な夢の世界を綴る本作の幻想的な作風、美しい日本語、独特の世界観に魅了されることでしょう。

実力派俳優の真野響子さんは、様々な文学に造詣が深く、特に漱石作品と関連本はほとんど読破し、一人語りとして作品の魅力を伝え続けています。一語一句を大事に、漱石の世界を身一つで体現する一

人舞台…。物語と現実の境界線を行きつ戻りつ、観る人を美しく妖しい世界へと誘います。幕が下りたとき、うたかたの夢の世界から心地よく目覚める人が増えていることでしょう。

舞台
「夢十夜」

ticket

【全席指定】一般3,800円 大学生以下2,500円

※上記金額は前売料金です。

※小学生以上を対象とする公演につき、未就学児は入場できません。

※託児の実施は未定です。詳しくは電話でお問合せください。

発売日

一般発売 7/1(木)9:00 伝国の杜FC会員先行予約 6/23(水)～27(日)

11/13 (土)
14:00開演

能面から知る能の世界



能楽師だけが知っている能面の面白さを金剛流の能を上演しつつ解説。演目ごとにどのような能面が使われ、どのように演じ分けられているのか、一歩踏み込んだ能の世界を、上杉博物館企画展「上杉家伝来の能面・能装束-語りはじめた面袋-」(10/16(土)~12/8(水))とともに楽しみください。

ticket

【全席指定】2,000円
※上記金額は前売一般料金です。
※未就学児は入場できません。

発売日

一般発売 8/26(木)9:00
伝国の杜FC会員先行予約 8/18(水)~22(日)

11/23 (火・祝)
15:00開演

アウン ジェイ
AUN J クラシック・オーケストラ



「1000年続く和の音を、1000年先にも伝えたい」をコンセプトに活動する和楽器ユニットのコンサート。楽器の魅力を最大限に引き出すオリジナル曲と、和楽器のスペシャリストならではの演奏を、ぜひお聴き逃しなく!

ticket

【全席指定】3,500円
※上記金額は前売一般料金です。
※未就学児は入場できません。

発売日

一般発売 8/26(木)9:00
伝国の杜FC会員先行予約 8/18(水)~22(日)

9/12 (日)

“能で文化交流”
山形県能楽の祭典



山形県内で唯一の本格的能舞台を備える置賜文化ホールでは、年に一度、県内の能楽愛好者たちが一堂に会し「仕舞」「連吟」「囃子」など、能の稽古の成果を披露する「能楽の祭典」が開かれます。能楽の研さん交流の場として続けられています。伝国の杜で狂言を習う「こども狂言クラブ」の小中学生も能舞台で「小舞」「狂言」を発表する予定です。

参加募集

“日本を学ぶ”
こども狂言クラブ



和泉流野村万蔵家(萬狂言一門)の指導のもと、小中高生が小舞や狂言を習っています。狂言の型(所作)を見せるため、「観客の視点」を大事に稽古します。せりふに登場する知らない日本語も身体で覚える演技指導で学ぶなど、子どもの成長に合わせて丁寧に指導していただくと好評です。

参加募集

“歌とダンスで心を表現”
市民ミュージカル



米沢に生まれたミュージカル劇団「伝国座」は、SCSミュージカル研究所(仙台市)の毎月1回の指導のもとスキルアップを目指してミュージカルに必要な身体づくり、発声、ダンスレッスンに励んでいます。なんにも出来ないけどミュージカルやお芝居に興味のある方、体を動かして元気になりたい方、大歓迎!一度見学会にぜひ参加してみてください。

チケット
ticket プレイガイド

受付時間
開館日の9:00~17:00

当館プレイガイドでは、置賜文化ホール自主事業のほか、主に伝国の杜で開催される公演のチケットを主催者からの依頼により販売しています。

取扱いチケット情報

インターネットで検索
置賜文化ホール

ホールのページへ

【観る】ホール主催の自主事業
【探す】月間催事スケジュール
【買う】チケットプレイガイド
【借りる】貸し施設ご利用の流れ
【知る】施設の紹介資料・図面

チケット購入方法

電話予約
伝国の杜置賜文化ホール
Tel.0238 (26) 2666

窓口受取
伝国の杜事務室でお引換
(ご予約後1週間以内)

窓口申込
事務室で直接ご購入の場合は
チケット代金支払と同時に受取り

郵便振込
ご予約後1週間以内
(自主事業のみ)

チケット郵送
送料無料でご自宅へ郵送
(自主事業のみ)

かしかん(施設貸出)デスク

受付時間
平日の9:00~17:00

各種催事の開催や準備・練習のための施設貸出し相談を承っています。使用料のお見積り等も行います。申し込み方法などお気軽にご相談ください。

貸出施設

ホールは、コンサートホール、劇場、能楽堂など様々なスタイルで利用できます。
3つの会議室を備え、学会や講演会、セミナー会場としても便利。
【施設】ホール(固定席500・能楽時544)・楽屋5室・練習室4室
大会議室(机40台)・小会議室2室(机各15台)
【設備】能舞台・音響反射板・コンサートグランドピアノ他

感染症拡大防止策 実施中

・座席配置の工夫
・客席ドア、手すり消毒
・換気システムの活用
・公演主催者への情報提供と打ち合わせ

■2020年10月17日(土)

ワークショップ「歩いて知ろう、米沢城の特徴」

特別展「米沢城ー上杉氏の居城ー」の関連事業として。大判絵図と見比べながら、米沢城の見どころや現状をご案内しました。展示を見て学ぶのとは違う視点から、歴史をより身近に感じるひと時となり、参加された皆さまより好評を得ました。



■2020年11月3日(火・祝)

スギテツwith溝口肇 ～クラシックで遊ぼう～

ピアノとバイオリンのデュオ「スギテツ」と、「世界の車窓から」のテーマ音楽でお馴染みのチェリスト溝口肇によるコンサートを開催しました。

クラシックと別の曲を組み合わせた面白い編曲や、ヴァイオリンの超絶技巧によるパフォーマンスに笑いの絶えないコンサートでした。



■2020年12月12日(土)～2021年1月24日(日) コレクション展

「米沢藩 武士たちの行列 ～上杉家の参勤交代～」

館蔵の初公開資料を中心に、上杉家の参勤交代の歴史について紹介。参勤交代に関連する資料が並ぶなか、特に10m以上に及ぶ「大名行列絵図」は、本展を象徴する資料として多くのお客様がじっくりご覧になっていました。



■2021年1月23日(土)

歌い継ぎたい日本の名曲 合唱コンサート

声楽アンサンブル「スコーズの」皆様を招き、思い出の合唱曲から懐かしの歌謡曲まで合唱で楽しみました。

スペシャルソングとして「山形県スポーツ県民歌」と「山形県歌」のメドレーが披露され、お客様から大好評でした。



■ミュージアムショップから

美術図録が一部お求めやすくなりました！

令和3年2月より、美術関連図録が一部お求めやすくなりました。米沢を代表する画家、椿貞雄や浜田浜雄の図録もごございますので、この機会に是非お買い求めください！

以下、図録一覧と新価格(税込)

- ・かたちと色 桜井祐一 没後20年・土田文雄生誕100年 522円
- ・浜田浜雄「これをなんと呼ぶ?超現実的世界?」 786円
- ・没後50年愛情の画家・椿貞雄- 1,204円
- ・わたし自身の肖像-鈴木実木彫展- 1,050円
- ・日本の屏風絵 627円



通信販売はコチラから



おうちで楽しめる

「伝国の杜」デジタルコンテンツ一覧

①伝国の杜ホームページから

体験学習室のプログラムをご自宅でも楽しめる「おうちアトリエ」は現在8種類を展開中。「明和六年米沢城下絵図デジタルマップ」は、上杉鷹山が生きた時代の詳細な米沢城下絵図を、現代地図と並べて比較できます。

②YouTube伝国の杜チャンネル

「常設展示室へようこそ」、「アートコレクション 学芸員のお福わけ」といった展示室や資料の解説シリーズや、おなじみ「うごく能舞台」の動画などを配信中。

③Googleストリートビュー

常設展示室や体験学習室の入口まで入れるほか、置賜文化ホールのお客席内からステージを眺めることも可能。



▲おうちアトリエ



座の文化伝承館からのお知らせ

住所 米沢市丸の内一丁目3-48
電話 0238-23-8009

5月15日(土)～5月31日(月)

浜田浜雄と本の世界

入場無料

毎週火曜日休館

米沢出身の画家 浜田浜雄(1915～1994)は、戦前の帝国美術学校(現 武蔵野美術大学)在学中に、シュルレアリスム(超現実主義)の思想に深く傾倒し、サルバドール・ダリ風の絵画を描きました。戦後はデザイナーとして活躍する一方、大量のオブジェと蔵書に埋もれたアトリエの様子はたびたび雑誌等に取り上げられました。本展では、自らも本の装丁や表紙デザインを手掛けた浜田浜雄と本の関わりを、浜田旧蔵書籍から紹介します。



アトリエの浜田浜雄

サポーター

伝国の杜サポーター 募集中です♪

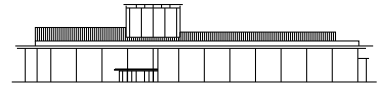
当館で活躍しているボランティア「伝国の杜サポーター」は、お客様と接する活動と、影で支える活動と様々な分野があります。10代から80代まで元気に活動中です。現在はインフォメーション(観光案内など)、教育普及、洛中洛外図案内人、図書整理、広報といった分野で新規メンバーを募集しています。お気軽にお問合せ下さい。

※2021年3月現在は新型コロナウイルスのため、活動を休止しております。

最近の活動から ■ピアノ弾きならしサポーターの活動を始めました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、様々なイベントやコンサートが中止となりました。置賜文化ホールの2台のピアノが、長期間弾かれないうちの状態だったことから、サポーターの皆さまによるピアノの弾きならし活動を始めました。コンサート等のときに最良の音質と音量を発揮できるよう、ホール・練習室が空いている時間に1~2時間ほどピアノを弾く活動を続けています。

広げよう文化ボランティアの輪 お問合せ 0238-26-8000(サポーター担当)



「展覧会をもう一度ゆっくり見たい」
「よい席で公演が見たい」
「いろいろな情報がほしい」
「ミュージアムショップやカフェをお得に利用したい」

そんなあなたに

「伝国の杜ファンクラブ」があります。

会員になると以下のような特典が受けられます。

- 会員証の提示で米沢市上杉博物館の特別展・企画展・コレクション展・常設展を何度でも無料入館(同伴者1名は団体割引)
- 置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約(1公演につき4枚まで)
 - ・割引価格での購入(会員1名につき4枚まで・一部公演のぞく)
 - ・募集制ワークショップに1回無料で参加(1回無料券の進呈)
 - ・「伝国の杜だより」、ファンクラブ会報等、催事チラシの送付(年5回程度)
 - ・ファンクラブ会員向けの事業への参加(年2回程度)
 - ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品10%割引(委託商品のぞく)
 - ・ミュージアムカフェでの10%割引(同伴者3名まで) ※2021年3月現在休業中
 - ・提携施設での割引



■令和3年度会員入会受付中



福王寺一彦氏のお話と大野木はるか氏のピアノ演奏を楽しみました。

昨年のファンクラブ会員事業の様子
「伝国の杜芸術サロン
～美術と音楽のひととき～」

<年会費>	
一般会員	2,500円
学生会員	10,000円
ジュニア会員	500円
※会員期間は4月1日～翌年の3月31日まで	

ちょっとお知らせ 常設展示室の鷹山シアターに字幕がつきます！

現在、常設展示室にて放映している「鷹山シアター」に日本語と英語の字幕がつきます。様々なお客様に対応できる形にバージョンアップしました。引き続きお楽しみください。

ナセBA(市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー)からのお知らせ

米沢市中央1丁目10-6 TEL 図書館:0238-26-3010/ギャラリー:0238-26-6400

◆先人顕彰コーナー 会場:中2階先人顕彰コーナー

・「資料紹介—清水彦介資料—」

3月26日(金)~5月26日(水)

自由民権運動家として活躍した清水彦介(1821-1895)の蔵書本より、米沢の近代化に関する書籍を紹介します。



「天雷子」

・「吾妻健三郎と大橋乙羽—2人の明治編集者—」

5月28日(金)~7月21日(水)

出版社「東陽堂」を開き、日本画の印刷技法を成功させた吾妻健三郎(1856-1913)と、博文館の編集者として頭角をあらわした大橋乙羽(1869-1901、本名は渡部又太郎)、2人の業績を取り上げます。

【関連講演会】

「吾妻健三郎と大橋乙羽

—明治期2人の編集者—」

千葉正昭氏(元米沢女子短期大学教授、日本近代文学)

日時:5月30日(日)14時~15時30分

会場:1階体験学習室

定員:20名

受付開始:4月26日(月)~先着順



「繪画雑誌」第1号・第2号

◆アーツよねざわ100祭展 4月14日(水)~4月25日(日)

会場:1階よねざわ市民ギャラリー

米沢在住の90歳から5歳まで幅広い世代のアーティストによるアートの祝祭展を開催します。

4

5

6

7

8

9

展覧会

G：ギャラリートーク
(企画展示室展示解説)

講：講演会

C：コレクショントーク
(上杉文華館展示解説)

企画展示室

4/17(土) 特別展 **上杉鷹山の生涯**
～藩政改革と家臣団～
6/20(日) ※休館日 5/26(水)

前期：4/17～5/16 後期：5/22～6/20
(5/17～5/21 は展示替のため常設展のみ)

講 6月6日(日) 14:00～
「大名家臣の「奉公」とは何か」
高野信治氏(九州大学教授)
2階大会議室にて、聴講無料、
事前申込制、定員先着80名

G 4/17(土) 17:15～、5/22(土) 9:15～
要入館料、事前申込制

5/5(火) 子どもの日 高校生以下 入館無料!

6/26(土) 企画展 **きかんしゃトーマス**
ゾー島のなかまたちが教えてくれたこと
8/1(日) ※休館日:7月28日(水)

G 6/26(土)17:15～ 要入館料、事前申込制

8/7(土) 特別展 **狩野派** ～永徳の周辺～
10/10(日) ※休館日 8/25(水)、9/22(水)

前期：8/7～9/5 後期：9/11～10/10
(9/6～9/10 は展示替のため常設展のみ)

※関連事業として、ギャラリートークと講演会を開催予定

9/11～10/10 洛中洛外図屏風 原本展示

常設展示室

上杉文華館
年間テーマ
「上杉定勝」

◇期間テーマ
3/30 ～5/25

◇親子①
～景勝の教育～
C 4/4(日)

5/18(火)
国際博物館の日
どなたでも入館無料!
(常設展のみ)

5/27 ～7/27
◇親子②
～定勝の成長と別れ～
C 5/30(日)

7/29 ～9/21
◇定勝の周辺
C 8/1(日)

9/23 ～11/23
◇定勝の文芸①
～漢詩文と歌～
C 9/26(日)

教育普及事業

記号について

■:募集制ワークショップ
(要事前申込、有料)

○:自由参加制ワークショップ
(申込不要、参加無料)

■4/23(金)19:00～20:30
ナイトツアー
上杉本洛中洛外図の世界

■4/30(金)19:00～20:30
ナイトツアー
古文書から読み解く、鷹山の本音!?

■7/10(土)9:00～10:00
モーニングツアー
きかんしゃトーマスの世界

■7/18(日)10:00～11:30
色とあそぼう

■8/1(日)10:00～15:00
樹脂絵具でつくるステンドグラス

■8/28(土)10:00～11:30
夏のカラーハンティング
～自然の色に近づこう!～

■9/5(日)13:30～15:00
包んで結んで 風呂敷の魅力

○9/11(土)10:30～/14:00～
むかしむかしをきこう

ホール

よねざわ市民ミュージカル
公開レッスン

4/23(金) 19:00～21:00
5/21(金) 19:00～21:00
6/25(金) 19:00～21:00
7/30(金) 19:00～21:00
8/27(金) 19:00～21:00
9/10(金) 19:00～21:00

※会場や見学方法につ
いてはお問い合わせ
下さい(要申込)

7/24(土)14:00～
絵本の読み聞かせ
『絵本のじかんだよ!』

8/22(日)15:00～
山響とみんなで創る音楽会

9/12(日)
令和3年度
山形県能楽の祭典

9/19(日)16:00～
真野響子一人舞台
夏目漱石 夢十夜

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 室町時代 狩野永徳筆 夕飯の材料? シジミとり(左隻2扇)

あぶらこうじ かわ
油小路を流れていた小川の中に親子の姿があります。父親はザルを、隣の子供は籠を持っています。シジミとりの親子と考えられています。



前かがみの姿勢の父親はまさに川底をさらおうとしているのでしょうか。あるいはさらって水や泥を流してザルの中のシジミを見定めているのでしょうか。隣の子供もザルに集中しているようです。その後ろの子供も家族とみられ、前に手を伸ばしてシジミのとれ具合を尋ねているように見えます。夕食で食べるのでしょうか。これらは想像ですが、この親子の手足やかがみ具合などは実にリアルに描かれており、つつい想像をたくましくしてしまいます。

「上杉本洛中洛外図屏風」には、名所や有名な祭りなどとともに、京に暮らす人々の日常がそこかしこに、生き生きと描き込まれています。絵師の視線が、人間そのものに向けられていることが分かります。

◆利用案内◆ ※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代(公財)米沢上杉文化振興財団)
0238-26-2660(FAX)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール/チケット・施設利用)
ホームページ <https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>
ブログ <http://samidare.jp/denkoku>

(公財)米沢上杉文化振興財団ホームページ
<http://uesugizaidan.or.jp/>



博物館開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)
博物館休館日: 5月-11月 第4水曜日(休日の場合はその直後の平日)
12月-3月 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日)
年末年始(今年度は12/27～1/1)
※年始 1/2～1/3は休まず開館予定。
ホール休館日: 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日) / 年末年始
博物館入館料: 常設展 一般410(330) 高大生210(150)
小中生110(60) ※()は20名以上の団体料金
※特別展・企画展は別途
※特別展開催期間は常設・企画一体型料金のため異なります。



「伝国の杜」の「伝国」という言葉は、米沢藩9代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。